

## 朝日大学病院を受診された患者さまへ

### 研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意を得て実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用い研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされています。このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名	早期消化管がんの内視鏡診断における画像強調内視鏡の視認性についての臨床研究
当院の研究責任者	八木 信明（消化器内科 教授）
他の研究機関および各施設の研究責任者	富士フィルム株式会社 メディカル事業部 内視鏡システム部 秋庭 治男
本研究の目的	画像強調内視鏡とは、白色光から光の波長を変換し、消化管の粘膜表面の模様や血管の輪郭、色調を強調する観察方法です。より効率良く低侵襲な内視鏡検査を明らかにするために、最新の画像強調内視鏡であるLCIについて、上部消化管腫瘍性病変と大腸腫瘍発見及び質的診断における有用性を明らかにすることを目的とします。
調査データ該当期間	委員会承認後～2023年3月31日
研究の方法（使用する資料等）	上記の期間に、当院で早期胃癌及び胃腺腫、大腸腫瘍と診断された患者様の診療録、内視鏡撮影画像データを用いて、白色光及び画像強調光の視認性を評価し、治療成績、長期予後等について比較検討します。
試料/情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取扱い	診療録データからは個人が特定できる情報を削除し研究用の番号を付けて取り扱います。対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存し、第三者が立ち入りできない部屋で厳重に管理します。
本研究の資金源（利益相反）	利益相反なし なお、富士フィルム株式会社から研究に必要な内視鏡関連機材の無償貸与を受けます。
お問い合わせ先	当院の研究責任者 八木 信明（消化器内科 教授） TEL 058-253-8001
備考	